



先進国の子どもたちの貧困

—ユニセフ報告書「Report Card 10」より—

「世界子供白書 2012」では、特に開発途上国の都市で生活する子どもたちの、主に貧困に由来する様々な困難に焦点が当てられています。しかしながら、都市開発に成功し、現在多くの人々が一定水準以上の生活を送る先進国においても、貧困に苦しむ子どもたちが多く存在することを認識する必要があります。

※「Report Card 10—先進国の子どもの貧困」(英文)は右記URLでダウンロードいただけます。

http://www.unicef.or.jp/library/pdf/lab0_rc10.pdf

ユニセフ・イノチェンティ研究所が5月に発行した『Report Card 10—先進国の子どもの貧困』において、日本の「子どもの相対的貧困率」は14.9%であり、日本国内の約2,047万人の子どものうち、およそ305万人の子どもが貧困家庭で暮らしていることが明らかになりました。

『Report Card』シリーズは先進国の子どもたちの状況を調査・分析した報告書で、これまでも、先進国の子どもたちの幸福度についての報告の中で、日本の15歳の子どものうち、30%が孤独を感じ、15%が疎外感を感じているという調査結果を明らかにするなど、先進国の子どもたちの状況を分析しています。

『Report Card 10』では、先進35カ国に住む子どものうち、およそ15%に当たる約3,400万人が貧困家庭に暮らし、日本の子

もの貧困率14.9%という数値は35カ国のうち9番目の高さで、さらにアメリカは日本を凌ぐ23.1% (35カ国中2番目) という数値が示されています。

本報告書では、「子どもの相対的貧困率」と「子どもの剥奪指数」という、性質の異なる二つの指標を用いて、先進国の子どもたちの貧困状況を分析しています。

指標① 「子どもの相対的貧困率」

各国の等価可処分所得の中央値の半分が「相対的貧困ライン」と定義され(2009年の日本の相対的貧困ライン—112万円<厚生労働省『平成22年国民生活基礎調査の概況』より>)、全世界に対する貧困ライン未満で暮らす世帯の割合が「相対的貧困率」、子どもの割合は「子どもの相対的貧困率」と定義されています。

本報告書ではOECD(経済協力開発機構)加盟国を中心とする先進35カ国の「子どもの相対的貧困率」がまとめられています。(【表1参照】、日本のデータは2009年の所得に基づく)

子どもの相対的貧困率が最も高かったのは東欧のルーマニア(25.5%)で

す。一方、最も低かったのがアイスランド(4.7%)で、フィンランド(5.3%)などの北欧諸国がその後を追っています。

指標② 「子どもの剥奪指数」

EU全加盟国にノルウェー、アイスランドを加えたヨーロッパ29カ国の1歳から16歳の子どもたちを対象とした調査で、「一日3度の食事」や「余暇活動」、「インターネットへの接続」など子どもの生活に関わる14の項目のうち、2つ以上が欠けている場合に「剥奪状態」にあるとされ、そのような状態にある子どもたちの割合を「子どもの剥奪指数」として算出しています。本報告書では、「子どもの剥奪指数」が最も高いのはルーマニア(72.0%)、最も低いのはアイスランド(0.9%)という結果が報告されています。

本報告書は、各国が継続して子どもの相対的貧困率を監視すること、貧困の削減のために期限付きの政策目標を設定すること、貧困率の測定から不必要な複雑性を排除することなどの重要性を強調し、各国は子どもの貧困問題を優先課題として取り組むべきであると訴えています。

【表1】子どもの相対的貧困率(先進35カ国)

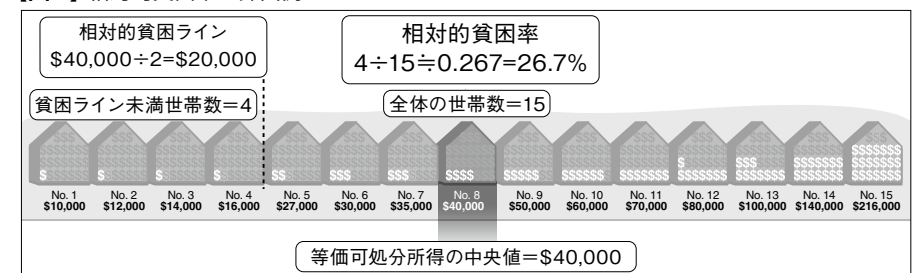
4.7	アイスランド
5.3	フィンランド
6.1	キプロス
6.1	オランダ
6.1	ノルウェー
6.3	スロベニア
6.5	デンマーク
7.3	スウェーデン
7.3	オーストリア
7.4	チェコ
8.1	スイス
8.4	アイルランド
8.5	ドイツ
8.8	フランス
8.9	マルタ
10.2	ベルギー
10.3	ハンガリー
10.9	オーストラリア
11.2	スロバキア
11.7	ニュージーランド
11.9	エストニア
12.1	英国
12.3	ルクセンブルク
13.3	カナダ
14.5	ポーランド
14.7	ポルトガル
14.9	日本
15.4	リトアニア
15.9	イタリア
16.0	ギリシャ
17.1	スペイン
17.8	ブルガリア
18.8	ラトビア
23.1	米国
25.5	ルーマニア

出典：Report Card 10, Measuring child poverty

「相対的貧困率」とは？

例えば【図1】のような経済状況の15世帯が暮らす地域があり、この地域の可処分所得の中央値が\$40,000であるとき、相対的貧困ラインは、その半分の\$20,000となり、貧困ライン未満で暮らす世帯は4世帯あることとなります。このとき、この地域の相対的貧困率はおよそ26.7%となります。

【図1】相対的貧困率の算出例



出典：Report Card 10, Measuring child poverty